



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新展示場整備事業	階数	地上2階
建設地	北海道札幌市豊平区月寒東三条11丁目21番19号	構造	S造
建物用途	集会所	平均居住人員	3,585 人
竣工年	2027年6月 予定	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
敷地面積	71,326 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	24,013 m ²	評価の実施日	2025年8月1日
延床面積	29,871 m ²	作成者	北原和俊
		確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8 ★★★★★★☆☆☆ A</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 Q</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>3(保健) 4(教育) 5(ジェンダー) 6(水・衛生) 7(エネルギー) 8(経済・雇用) 9(イノベーション) 11(都市) 12(生産・消費) 13(気候変動) 15(陸上資源) 17(実施手段)</p> <p>2.1 2.2 1.0 2.2 1.8 2.0 1.5 1.9 1.9 2.0 1.4 1.3</p> <p>* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>
		<p>2-4 一次エネルギー消費量の評価</p> <p>建物全体の[BEI][BEIm]</p> <p>ZEB/ZEH-Mランク</p> <p>0.80</p> <p>非該当</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.5</p> <p>音環境 3.2 温熱環境 2.4 光・視環境 5.0 空気質環境 3.8</p> <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 4.0</p> <p>機能性 3.9 耐用性・信頼性 3.9 対応性・更新性 4.2</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.5</p> <p>生物環境 3.0 まちなみ・景観 4.0 地域性・アメニティ 3.5</p> <p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.3</p> <p>建物外皮の熱負荷 3.5 自然エネルギー 4.0 設備システム効率化 3.0 効率的運用 3.5</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 4.1</p> <p>水資源保護 3.8 非再生材料の使用削減 4.4 汚染物質回避 3.6</p> <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.3</p> <p>地球温暖化への配慮 3.5 地域環境への配慮 3.1 周辺環境への配慮 3.2</p>

3 設計上の配慮事項			
総合		A 省エネルギー	
札幌市に建設される展示場の計画である。 自然エネルギーの利用、エネルギーのモニタリングを実施し、省エネルギーに配慮した建物としている。		ハイサイドライトを採用し自然エネルギー直接利用の取組 みがある。	
B 省資源等		D 雪処理	
リサイクル資材を積極的に採用している。		集雪場を確保し、冬期の活動上のアメニティ向上に貢献し ている。	
C 緑化			
札幌市緑の保全と創出に関する条例による許可を受け、な おかつ中高木を植栽している。			

4 ほかの認証・評価制度の利用					
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

CASBEE_Sapporo2021v1.0

(仮称)新展示場整備事業

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
Q 建築物の環境品質							3.6		
Q1 室内環境				0.40		-	3.5		
1 音環境			3.2	0.15		-	3.2		
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40		-			
1.2 遮音			3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能			3.0	1.00		-			
2 界壁遮音性能				-		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-			
1.3 吸音			4.0	0.20		-			
2 温熱環境			2.4	0.35		-	2.4		
2.1 室温制御			2.6	0.50		-			
1 室温			1.0	0.60		-			
2 外皮性能			5.0	0.40		-			
3 ゾーン別制御性			-	-		-			
2.2 湿度制御			1.0	0.20		-			
2.3 空調方式			3.0	0.30		-			
3 光・視環境			5.0	0.25		-	5.0		
3.1 昼光利用			-	-		-			
1 昼光率			-	-		-			
2 方位別開口				-		-			
3 昼光利用設備			-	-		-			
3.2 グレア対策				-		-			
1 昼光制御			-	-		-			
3.3 照度			-	-		-			
3.4 照明制御			5.0	1.00		-			
4 空気質環境			3.8	0.25		-	3.8		
4.1 発生源対策			4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質			4.0	1.00		-			
4.2 換気			3.5	0.30		-			
1 換気量			4.0	0.50		-			
2 自然換気性能			-	-		-			
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50		-			

	4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
	1	CO ₂ の監視		—	3.0	0.50		-	
	2	喫煙の制御		ビル全体の禁煙が確認されている。または、喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。	5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	4.0
1 機能性					3.9	0.40		-	3.9
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40		-	
1						-		-	
2						-		-	
3					3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30		-	
1						-		-	
2						-		-	
3					5.0	1.00		-	
1.3 維持管理					4.0	0.30		-	
1					4.0	0.50		-	
2					4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性					3.9	0.30		-	3.9
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.8	0.50		-	
1					4.0	0.80		-	
2					3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.6	0.30		-	
1					3.0	0.20		-	
2					2.0	0.20		-	
3					5.0	0.10		-	
4					5.0	0.10		-	
5					5.0	0.20		-	
6					3.0	0.20		-	
2.4 信頼性					4.8	0.20		-	
1					5.0	0.20		-	
2					4.0	0.20		-	
3					5.0	0.20		-	
4					5.0	0.20		-	
5					5.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					4.2	0.30		-	4.2
3.1 空間のゆとり					5.0	0.30		-	
1						-		-	
2					5.0	1.00		-	
3.2 荷重のゆとり					5.0	0.30		-	

3.3 設備の更新性				3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		—	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		—	3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		—	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		—	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		—	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		—	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	3.5
1	生物環境の保全と創出	緑化	—	3.0	0.30		-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	緑地による良好な景観形成への取組み等	4.0	0.40		-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	集雪場の確保、マンホールトイレの設置等	4.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	空地率≧60%	3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.5
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.93 品確法= モデル建物法	3.5	0.20		-	3.5
2	自然エネルギー利用	省エネ	ハイサイドライトの採用	4.0	0.10		-	4.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.80 モデル建物法	3.0	0.50		-	3.0
4	効率的運用			3.5	0.20		-	3.5
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握して、消費特性の傾向把握・分析を行い、妥当性が確認できる。	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	—	3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング	省エネ	—		-		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	—		-		-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	4.1
1	水資源保護			3.8	0.20		-	3.8
1.1	節水		節水コマなどに加えて、省水型機器(擬音、節水型便器など)などを用いている。	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		雨水利用をしている。	4.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		—	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			4.4	0.60		-	4.4
2.1	材料使用量の削減	省資源	BCP鋼材の採用等	5.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	—	3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	構造耐力上主要な部分にリサイクル資材を用いている。	5.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	リサイクル資材を3品目以上用いている。	5.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	—	3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	OAフロアの採用等	5.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			PRTR法非該当の建材を1種別以上採用	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70		-	
1	消火剤	省資源	—	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	ODP=0かつ、GWP=10以下の発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	4.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源	—	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		省資源	—	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止		省資源	—	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	—	3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	—	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		—	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		荷捌きスペース・サービス用駐車場を確保	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	—	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		—	3.0	1.00		-	
2	振動		—	-	-		-	
3	悪臭		—	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		—	3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		—		-		-	
3	日照阻害の抑制		—	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインの過半を満足	5.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		—	3.0	0.30		-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要					
建物名称	(仮称)新展示場整備事業	BEE	1.8	BEEランク	A
建物用途	集会所				
延床面積	29,870.6 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート			
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー				
	省資源等				
	緑化				
	雪処理				
		<p>★1=スコア(最低点～最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点～最高点)20%～40%以下 ★3=スコア(最低点～最高点)40%～60%以下 ★4=スコア(最低点～最高点)60%～80%以下 ★5=スコア(最低点～最高点)80%以上</p>			

3. 重点項目のCASBEEスコア									
A 省エネルギー		(最高点	21.4	最低点	5.9)	合計	14.6点 / 21.4点
Q1 温熱環境	スコア	1.4	/ 1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.8	/ 4.0		
Q1 光・視環境	スコア	0.0	/ 0.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.6	/ 2.0		
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.0	/ 10.0		
				LR1 効率的運用	スコア	2.8	/ 4.0		
B 省資源等		(最高点	23.7	最低点	7.7)	合計	17.7点 / 23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.8	/ 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	7.9	/ 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4	/ 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.5	/ 1.9		
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.5	/ 5.0		
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.6	/ 4.4		
C 緑化		(最高点	15.3	最低点	3.1)	合計	10.4点 / 15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.7	/ 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5	/ 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.8	/ 6.0						
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4	/ 2.3						
D 雪処理		(最高点	3.0	最低点	0)	合計	3.0点 / 3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	/ 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	/ 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数